

はじめてのえほん





もくじ

• はじめての絵本	1	• 「くっついた」	7
• 「いない いない ばあ」	2	• 「だっこ だっこ ねえ だっこ」	7
• 「がたん ごとん がたん ごとん」	2	• 「ととけっこう よが あけた」	8
• 「まるてん いろてん」	3	• 「こんにちは どうぶつたち」	8
• 「もこ もこもこ」	3	• 「くだもの」	9
• 「おつきさまこんばんは」	4	• 「とってください」	9
• 「どんどこ ももんちゃん」	4	• 「まるくて おいしいよ」	10
• 「ぴょーん」	5	• 「しろくまちゃんのほっとけーき」	10
• 「たまごのあかちゃん」	5	• 図書館のご案内	11
• 「なーんだ なんだ」	6	• おはなし会のご案内	12
• 「きんぎょが にげた」	6	• こども図書館案内図	13



はじめての絵本

お父さん・お母さんの心のこもった語りかけは、赤ちゃんにとってとてもうれしく、欠かせないものです。そんな優しく語りかけてもらう時間が、赤ちゃんの言葉と心を育むためにはとても大切です。言葉の意味をすべて理解することはできない赤ちゃんも、絵を指差したり、じっと見つめたり、読んでくれる人の声に耳を澄ませたりと、赤ちゃんそれぞれの楽しみ方があります。絵本を通して、笑ったり喜んだりしながら気持ちを通わせることによって、親子のつながりも深まることでしょう。ゆっくり語りあい、心ふれあうひとときを持ち、親子でお互いのぬくもりを感じながら絵本をお楽しみください。





「いない いない ばあ」

松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵 童心社
(Eセ)

「いないいないばあ にゃあにゃがほらほ
らい いないいない…ばあ」くま、ねずみ、
きつね、最後はのんちゃんが出てきて「い
ないいないばあ」をします。
赤ちゃんと一緒に楽しめる、長く愛され続
けている一冊です。



「がたんごとん がたんごとん」

安西 水丸/作 福音館書店 (Eア)

「がたんごとん がたんごとん…のせて
くださーい」お客さんをのせて汽車が進ん
でいきます。「がたんごとん がたんごと
ん」…。次のお客さんはだれかな？
シンプルなかにも、赤ちゃんをひきつけ
る魅力ある絵本です。



「まるてん いろてん」

中辻 悦子/作 福音館書店 (Eナ)

いろいろなまるが「てんてんてん」。小さくなったり大きくなったり…。同じ「まる」や同じ言葉でも、お顔に見えたり、音まで変わってきたりするように見えるのが不思議な絵本です。

カラフルではっきりとした絵とリズムカルな音で、赤ちゃんも楽しくなります。



「もこ もこもこ」

谷川 俊太郎/作 元永 定正/絵 文研出版
(Eモ)

「もこ」「によき」「ぱく」…。大人には不思議に思える言葉と色の世界に、赤ちゃんはぐっと引き込まれます。赤ちゃんの感性と想像力に触れられる絵本です。



「おつきさまこんばんは」

林 明子/作 福音館書店 (E八)

夜、空は真っ暗です。だんだんと屋根の上
が明るくなってきたら、おつきさまの登場
です。そこへ、くもさんがやってきて…。
最後はにっこり、おつきさまの表情にひき
つけられる絵本です。裏表紙のおつきさま
の顔に、思わず笑ってしまいます。



(ももんちゃんあそぼうより)

「どんどこ ももんちゃん」

とよた かずひこ/作・絵 童心社 (Eト)

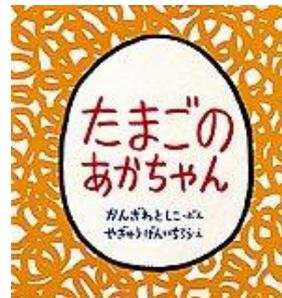
「どんどこどんどこ ももんちゃんが急い
でいます」。とおせんぼされても、頭をぶ
つけても、ももんちゃんはどんどこ急いで
います。急いで行くその先には何が待っ
ているのかな？ももんちゃんの顔がとても
勇ましく見えます。



「ぴょーん」

まつおか たつひで/作・絵 ポプラ社 (Eマ)

ページをめくるたびに「ぴょーん」とはねるいろいろないきもの。「ぴょーん」にあわせてはねてみたり手をあげてみたりと、赤ちゃんも一緒に楽しめます。縦に開く絵本は、はねる姿をさらに魅力的にしてくれます。



「たまごのあかちゃん」

神沢 利子/文 柳生 弦一郎/絵 福音館書店 (Eヤ)

「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ？でておいでよ」と話しかけると、たまごのなかからあかちゃんが出てきて、こんにちは。次のたまごからどんなあかちゃんが出てくるのか、わくわくしてきます。



「なーんだ なんだ」

カズコ・G・ストーン/作 童心社 (Eス)

「なーんだ なんだ」の掛け声とともに、ゆっくりパンダの顔が出てきます。「こんにちは」とあいさつをして、パンダさんのうでの中を見てみると…？色もはっきりしていて、目をひく絵本です。



「きんぎょが にげた」

五味 太郎/作 福音館書店 (Eコ)

きんぎょがきんぎょばちから、部屋の中ににげだしました。見つけたと思ったらまたにげた！大きい字で読みやすく、「きんぎょさんどこかな？」と探して、楽しく遊べます。



「くっついた」

三浦 太郎/作・絵 こぐま社 (Eミ)

きんぎょさんときんぎょさんが、ページをめくると…「くっついた！」次はあひるさん、最後は赤ちゃんをはさんでおとうさんもおかあさんも「くっついた！」

自然に親子の距離が近づき、家族で笑顔になれます。



「だっこだっこ ねえだっこ」

長 新太/作 ポプラ社 (Eチ)

「にゃあにゃあ」「わんわん」「ころころ」…いろんな親子が出てきて「ねえだっこ」。次のおねだり上手は誰かな？鮮やかな色の絵がページいっぱい広がる、繰り返しことばも楽しい絵本です。



(わらべうたえほんより)

「ととけっこう よが あけた」

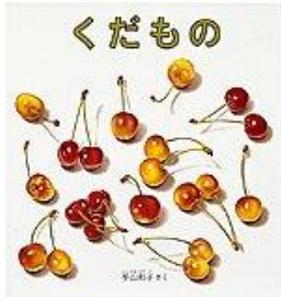
こばやし えみこ/案 ましま せつこ/絵
こぐま社 (Eマ)

「ととけっこう よがあけた ○○ちゃん
おきてきな」と、にわとりがやさしくつつ
きながらみんなを起こしてまわります。
お子さんの名前をいれて起こしてあげた
らきっと喜ぶ、目覚めにやさしいわらべう
たの絵本です。

「こんにちは どうぶつたち」

とだ きょうこ/案 さとう あきら/写真
福音館書店 (Eサ)

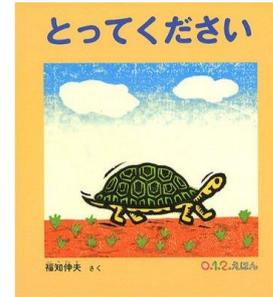
じっとこちらを見つめている動物たちに、
「こんにちは」とあいさつをしてみよう！
不思議と返事をしてくれているように感
じることができます。
動物たちの個性的な表情が素敵な写真絵
本です。



「くだもの」

平山 和子/作 福音館書店 (Eヒ)

やわらかい雰囲気でも物そっくりの絵は、「さあどうぞ」といわれると、つい手が出てしまいそうなほど本当においしそうです。食べる真似をして口に運ぶと、赤ちゃんもお母さんも「おいしいね」と、思わず顔がほころんでしまいます。



「とってください」

福知 伸夫/作 福音館書店 (Eフ)

「おさるさん りんごをとってください」かめが、木の上のものを「とってください」と頼むと、動物たちが取ってきてくれます。「とってください」「ありがとう」のほほえましいやりとりに、優しい気持ちになります。木版画の力強さと色鮮やかな美しさが目をひく絵本です。



「まるくて おいしいよ」

こにし えいこ/作 福音館書店 (Eコ)

「これ なあに。」という問いかけと一緒に、色々な大きさの丸い食べ物がたくさん出てきます。

はっきりした色合いとおいしそうなお絵が目にも楽しい絵本です。

「これ なあに。」と赤ちゃんに問いかけながら楽しんでください。



(こぐまちゃんえほんより)

「しろくまちゃんのほっとけき」

森 比左志/文 わだ よしおみ/文

わかやま けん/絵 こぐま社 (Eワ)

しろくまちゃんがおかあさんと一緒にホットケーキを作ります。途中でたまごを落としたり、こぼしたりと失敗してしまうけれど、ちゃんとホットケーキはできるかな？

自分で作ることの楽しさ、うれしさが実感できる絵本です。

図書館のご案内



• 開館時間

火・木・金曜日 午前9：30～午後6：00
水曜日 午前9：30～午後8：00
土・日・祝日 午前9：30～午後5：00

• 資料を借りるには

図書館の資料を借りるには、利用者カードが必要です。「利用者カード交付申込書」に必要事項を記入し、身分証と一緒にカウンターにお持ちください。
(赤ちゃんは保護者の方の身分証でもカードを作れます。)

貸出点数：図書10冊、雑誌3冊、視聴覚資料3点
貸出期間：2週間

• 休館日

毎週月曜日（祝日にあたる時はその次の平日）
毎月第4金曜日（祝日にあたる時はその前日）
図書特別整理期間（毎年10日以内）
年末年始（12月29日～1月4日）

※年末年始の休館日は変更になることもあります。詳しくは図書館までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

おはなし会のご案内



図書館では、火曜日と木曜日におはなし会を開いています。絵本・紙芝居などを使ってお話を読むほか、手遊びなども行っています。皆様一緒にお出かけください。



場所：函南町立図書館 1階

キッズルーム

日時：毎週火曜日 15：30～16：00

毎週木曜日 10：30～11：00



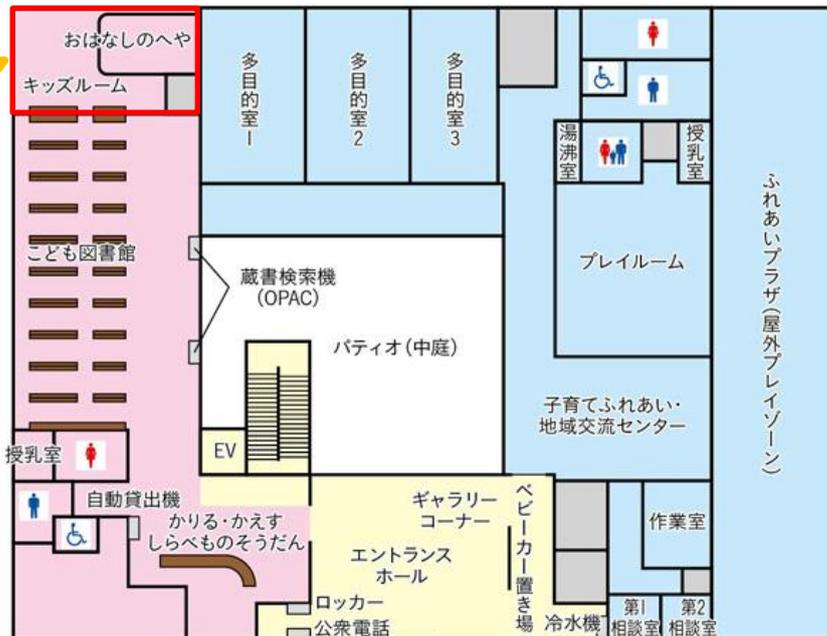
こども図書館（かなみ知恵の和館1階）案内図

（ピンク色の部分が図書館です）



このブックリストに載っている絵本は、キッズルーム内にあります。リストの絵本以外にも、赤ちゃん向けの絵本、育児書がありますので、是非ご覧ください。

また、おはなし会もこちらで行っています。



※2階は一般向けの本を置いてあります。

2014年6月 初版発行

2019年1月 第二版発行

函南町立図書館

〒419-0122

函南町上沢107-1

TEL 055 (979) 8700

FAX 055 (979) 8711

